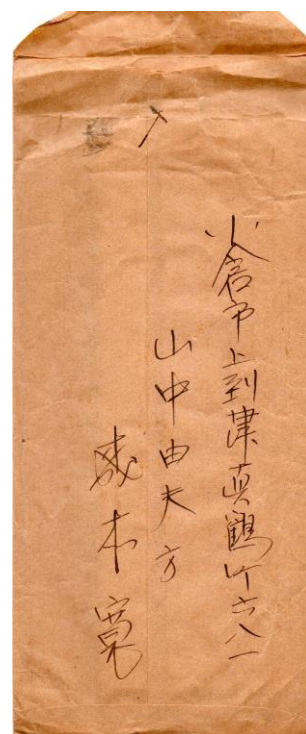
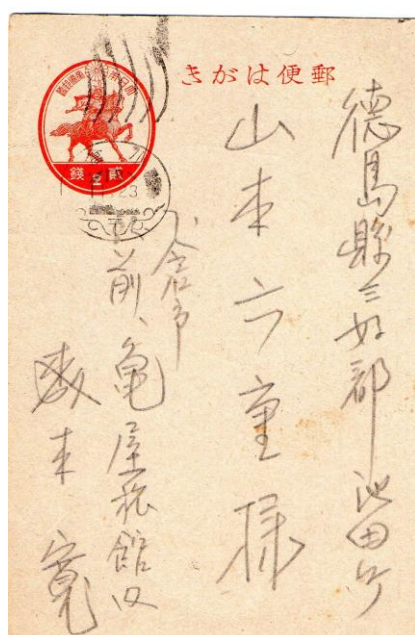


小倉駅前亀屋旅館

祖父が仁川にいたとき、出張や所用で何度か日本内地に来ていたことがわかっている。現在は仁川から日本へは飛行機を使うと日帰りも可能だが、当時はどこかで一泊する必要があった。わたしが住んでいる徳島の家には祖父が仁川に帰る途中、神戸駅から投函したはがきや小倉駅前の旅館から出した手紙など何通か残っている。その中で差出住所が明記されていたのは二通あり、どちらも小倉市（現在の北九州市小倉北区）、一通は小倉駅前亀屋旅館、もう一通は小倉市上到津真鶴町六八一の山中由夫さん宅だ。出された時期は亀屋旅館が昭和18年11月、上到津真鶴町からの手紙は9月末に書かれている。何年というのとは特定できないが、内容から昭和16年か17年だろうと推測できた。



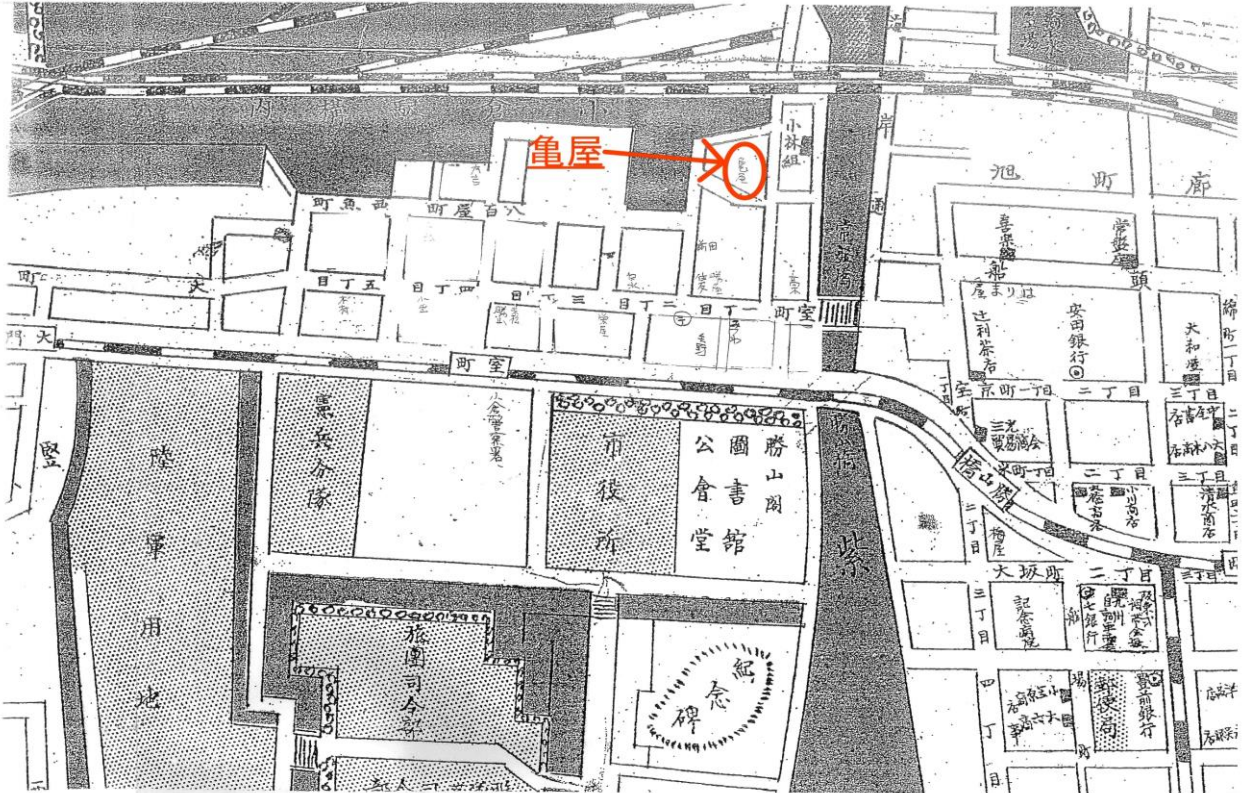
以前から福岡に行く際には小倉駅前の亀屋旅館があった場所を訪れたいと思っていた。そんなこともあって4年ぐらい前に小倉北区役所に亀屋旅館のことを問い合わせしてみたものの亀屋旅館があったかどうかもわからないので場所もわからないとの回答だった。だが、今年11月に福岡に旅行で行くことが決まったときからどうしても亀屋旅館が気になり、再度小倉北区役所にメールで問い合わせみると、下のようないいメールが返ってきた。

＝小倉駅前の「亀屋旅館」について

昭和3年発行の電話番号簿で検索すると、「亀屋旅館 室町一五」というものが1軒ありました。調べてみましたところ、電話番号簿記載の「室町一五」という地名で該当するものは確認できませんでしたが、「大字室町15」という地名であれば確認ができました。

「大字室町15」は住居表示後の現在は、「室町三丁目1-1」となっており、該当する場所には小倉北警察署室町交番が立地をしています＝

そして11月に福岡に行くことを伝えると担当者はさらに調べてくれ、明治後期の地図に亀屋と書かれた場所があるから、おそらくそこだろうと地図を送ってくれた。



当時、小倉駅は現在の西小倉駅の近くであって、亀屋旅館は駅前というより駅横に位置していた。地図で黒く縦に塗られている部分は川で、亀屋と円で囲った箇所のある黒く塗られた部分が小倉駅の敷地である。地図を持って交番の前に立って見ると、交番がある場所は以前小林組があった場所で、亀屋旅館はその横にある大きい建物のところにあつたのではないかと思った。昔、祖父がここに来たことを思うと、現在ではすっかり変わった風景を見ながら不思議な感じがした。昔の地図と比べると橋が一本増えていた。(写真右には橋の一部が写っている)



祖父の手紙にあったもう一通の差出住所、小倉市上到津真鶴町六八一の山中由夫さん宅についても小倉北区役所から返事あった。

=真鶴町681について

該当するものと思われる地域につきましては、昭和48年6月1日時点で住居表示を実施しています。住居表示時点以前の地名を調査しましたが、該当するものを確認することが出来ませんでした=

この件は残念な結果だったが、自分で調べていくと北九州市の中央図書館に昭和50年代の住宅地図が残っているということで、中央図書館に行ってみた。その地図の真鶴町に一軒だけ山中と書かれた住宅があったが、現在の地図と見比べてみるとそこは開発され、商業地域になっていた。祖父と山中由夫さんがどういう関係だったかわからないが、朝鮮機械製作所の同僚か関係者だった可能性もある。しかしこの調査はこれ以上進むことはないだろう。